

2012 日本建築学会国際建築都市デザインワークショップ 下北沢

「地域が支えるグリーンコンパクトシティの構築：世田谷」

2012 AIJ International Architectural and Urban Design Workshop in SHIMOKITAZAWA

参加者募集

主旨：

2011年3月11日の東日本大震災は、都心部の交通機能をマヒさせるほどの混乱を招き、改めて人のつながりや安全・防災の観点を強く意識させた。東京都心部に近接し、88万人の人口を抱える世田谷区は、駅周辺を賑わい拠点とし、それらを交通ネットワークで結ぶ形で商業地が存在し、その周辺部には緑多き住宅地が広がっている。しかし、高齢化社会や防災に充分対応できていない交通やオープンスペースのネットワーク、遺産相続による貴重な文化・自然資源の減少、新規開発と周辺地域との軋轢などの問題等も存在しており、現在、世田谷区は20年ぶりに基本構想を改訂する作業を行っている。

一方、北東部に位置する下北沢地区では、現在小田急線連続立体交差事業による鉄道地下化工事が進められ、鉄道地下化後には2.2kmのオープンスペースが創出されるため、新しい概念によるアーバンデザインのあり方が注目されている。本ワークショップでは、世田谷区全体と特定地区を対象とした(1)高齢福祉時代の地域のあり方、(2)職住近接型のコミュニティの形成、(3)持続可能なまちづくりデザイン(グリーンシティ)、などを主要なテーマとして、集中的なデザインワークショップを開催する。

■日時： 2012年7月21日(土)～29日(日)

■場所： 世田谷区北沢タウンホール(予定)

■参加学生：国内外の学生40名程度

■参加費：50,000円(宿泊費+パーティー代含む)：東京近郊在住者は20,000円

■スケジュール：

7月21日(土) 登録、ガイダンス

7月22日(日) まち歩き、現地調査

7月25日(水) 中間発表会

7月29日(日) 最終発表会

■主催：(社)日本建築学会 住まい・まちづくり支援建築会議 および 同都市計画委員会

■共催：世田谷区(予定)、(社)日本建築家協会世田谷地域会

■後援：(社)日本建築家協会、しもきた商店街振興組合、下北沢南口商店街振興組合(いずれも予定)

■協力：グリーンライン下北沢、NPO法人まちづくりデザインサポート、おやじネット下北沢

■講師：小林正美(明治大学理工学部建築学科教授)、出口敦(東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授)有賀隆(早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻・教授)、倉田直道(工学院大学建築学部まちづくり学科・教授)、佐々木宏幸(明治大学理工学部建築学科教授)、ピーター・ポッセルマン(米国・カリフォルニア大学バークレー校・教授)、ステファン・ペレグリーニ(米国・カリフォルニア大学バークレー校・講師)、アン・シュウ(フランス国立建築大学ブルターニュ校・准教授)、藍谷鋼一郎(九州大学大学院人間環境学研究院都市建築部門・特任准教授)、小池博(明治大学理工学部建築学科・講師)、高橋潤(明治大学理工学部建築学科・講師)ほか

■連絡先：「2012 日本建築学会国際建築都市デザインワークショップ下北沢」実行委員会事務局 03-3418-7711

詳しくはHPをご覧ください (<http://www.aij-iaud-ws.org/>)